

平成20年度 滝沢村水道事業会計 予算の概要

●予算規模について

区 分		平成20年度	平成19年度	比較増減	増減率
収入(A)	水道料金収入	82,824	82,686	138	0.2%
	その他の収益	4,647	4,741	△ 94	△ 2.0%
	小計	87,471	87,427	44	0.1%
支出(B)	施設の維持管理費	44,623	45,751	△ 1,128	△ 2.5%
	減価償却費	25,154	23,185	1,969	8.5%
	借入金利息の支払い	7,772	8,356	△ 584	△ 7.0%
	小計	77,549	77,292	257	0.3%
収支差引(A) - (B)		8,754	11,723	△ 2,969	△ 25.3%
純利益※1		8,783	8,754	29	0.3%

※1 純利益は、収支差引額から消費税などの影響額を除いたものです。

区 分		平成20年度	平成19年度	比較増減	増減率
収入(A)	国等からの借入金	12,800	13,500	△ 700	12.5%
	村からの出資金	1,554	1,498	56	3.7%
	工事負担金など	11,334	1,350	9,984	△ 79.7%
	小計	25,688	16,348	9,340	△ 17.9%
支出(B)	建設改良費	37,662	33,143	4,519	△ 13.0%
	借入金元金返済	18,453	17,516	937	1.0%
	小計	56,115	50,659	5,456	△ 8.5%
収支差引(A) - (B)		△ 30,427 ※2	△ 34,311	3,884	2.9%

※2 水道施設を建設・改良するために必要な経費が収支の差引きで不足する額3億427万円は、当年度損益勘定留保資金などで補てんします。
損益勘定留保資金とは、減価償却費など実際の現金支出を伴わない費用に見合う収入で資本的収入の財源になります。

返済
万円

借りたお金を

利息の支払い
772万円

などからお金の利息を

借入金 1億2,800万円
など 1億2,888万円

事業は、運営に必要な
のほとんどを税金では
お客様からいただく水
金によってまかなわれ
ます。



く、いつでもどこでも利用できる水道をめざします。

は、滝沢浄水場の耐震診断や耐震設計のほか、昨年度
配水管路の耐震化に取り組みます。

配水管路耐震化率11.7% (H19実績10.1%)

※経営計画の目標値は9.7%で既に達成しています。

持続

■水道の運営基盤の強化や顧客サービスの向上に努めます。

主な指標

水道モニター制度を導入します。
地図情報システム構築が完了し本格稼働します。
水道料金見直し作業を進めます。



環境

■健全な水循環に配慮した環境に
やさしい水をめざします。

今年度も引き続き浄水汚泥・建設副産物の有効利用、漏水
防止に取り組んでいきます。

主な指標

漏水率5.4% (H19実績6.6%)

